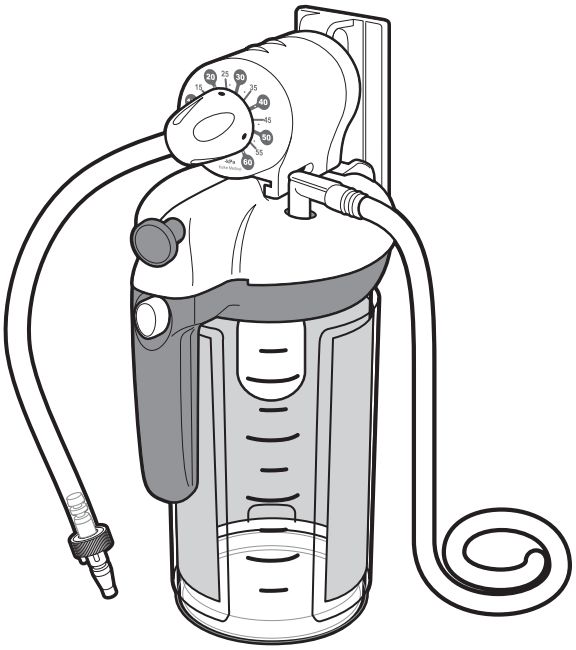
ネオ・コントローラー壁かけ式吸引器

yox S-511 GL

〈ヨックスGL S511〉

届出番号10B2X00014C00010

取扱説明書



⚠警告　取扱説明書をよく読み、内容を理解してから、当製品を扱ってください。

発売元
人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL
株式会社 小池メディカル

製造販売元
株式会社 群馬コイケ
GUNMA KOIKE

はじめに

このたびは、「ヨックスGL S511」をお買い求め戴き、厚く御礼申し上げます。
本書に従わない取り扱い・操作・整備等を行った場合は、性能が十分に発揮できない上、重大な事故につながることがありますので、当製品を扱う全員の方が見られるよう、いつも当製品のそばに置いてください。

当製品は、アウトレットの吸引圧力を利用する医療用壁かけ式吸引器です。
外科手術や治療などによって生じる血液、たん、生理食塩水などの汚物を吸入し、ボトル内に貯留するものです。
本取扱説明書は、当製品を安全に正しくご使用いただくためのガイドブックです。
当製品をご使用いただく前に、必ず本書を読み、取り付けおよび操作方法の他、点検・整備方法などを十分にご理解された上で、ご使用くださりますようお願い致します。

- 本書に従わない取扱い・操作・整備等を行った場合は、重大な事故につながることがあります。
- 本書の説明が完全に理解されるまでは、当製品をご使用しないでください。
- 常に本書を手元に保管し、当製品を扱う全員の方が必ずお読みの上、正しくお使いください。
- 本書を紛失または損傷した場合は、速やかに当社または、お近くの販売サービス店までご連絡ください。

もくじ

●安全の表示／安全メッセージ……2
●安全に使用していただくために……3
●製品の概要／各部の名称……4
●構成品……5
●仕様／オプション……6
●操作：使用前の準備……7
●操作：吸引の開始 ……13
●操作：吸引の中断／吸引の停止 ……14
●汚物の廃棄処理 ……15
●洗浄および消毒方法 ……17
●保守・点検 ……20
●消耗部品／廃棄処分について ……23
●消耗部品・部品の注文方法／保証期間 ……24
●日常点検表 ……26
●定期点検表 ……27
●故障かなと思ったら ……28

●安全の表示／安全メッセージ

安全の表示

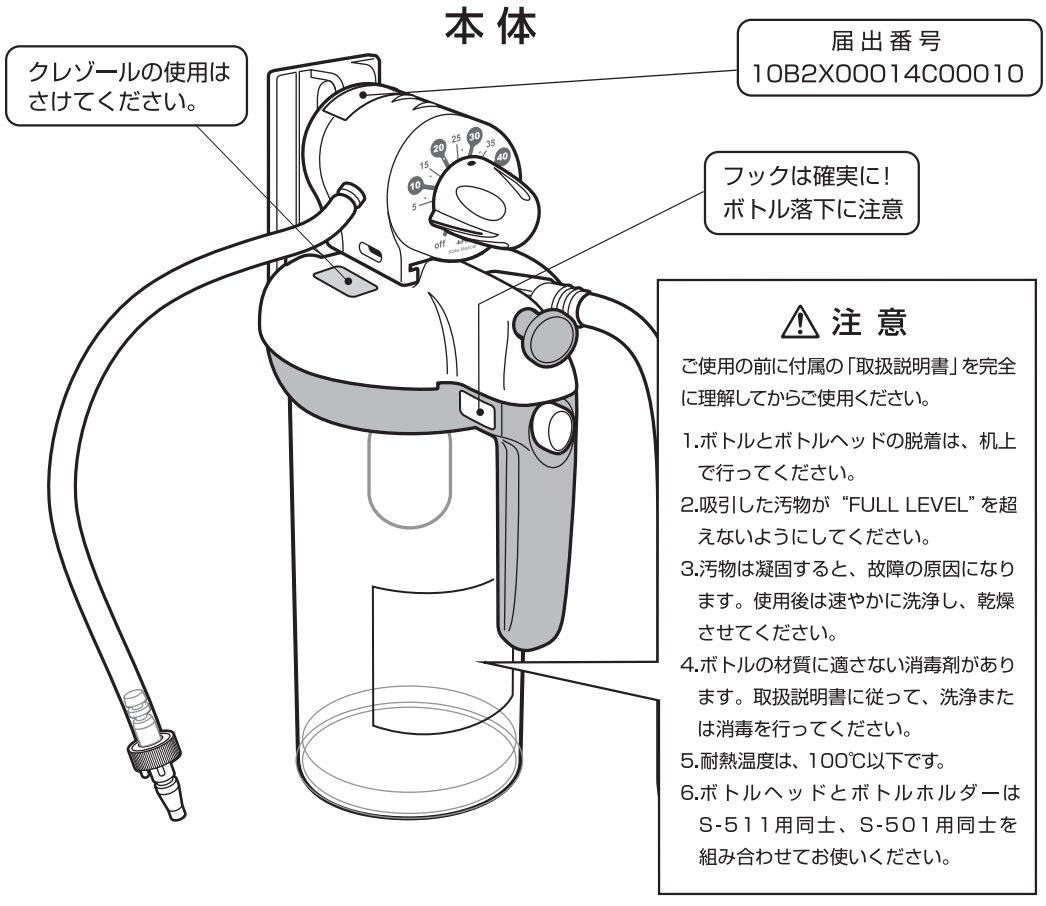
本書および当製品の安全性をよりご理解いただくために、安全の表示を次のように使い分けてあります。

⚠警告	取扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある危険状態になる場合の注意事項に用いております。
⚠注意	取扱いを誤った場合、軽傷または中程度の障害を負う可能性がある危険状態になる場合、および物的損害のみの発生が想定される場合の注意事項に用いております。

安全メッセージ

当製品に表示されている安全メッセージの内容と、表示位置は下図の通りです。ご確認ください。

安全メッセージの内容を良くご理解の上、安全にご使用願います。



●安全に使用していただくために

⚠ 警告

当製品を使用する時は、事故予防措置として次の点にご注意ください。

❶ 当製品は外科手術や治療などによって生じる血液・たん・生理食塩水などの汚物の吸引に使用するものです。それ以外の用途には使用しないでください。

❷ アウトレットには当製品1台のみ、使用してください。

❸ 上部のカラーボタンを不用意に押さないでください。運搬中またはアウトレットパネルにセットする前に、不用意に上部のカラーボタンを押すと、ネオ・コントローラーが外れて落下することがあります。

❹ 下部のホワイトボタンを不用意に押さないでください。運搬中またはアウトレットパネルにセットする前に、不用意に下部のホワイトボタンをを押すと、ネオ・コントローラーおよびボトルヘッドが外れて落下することがあります。

❺ 当製品はアウトレットパネルのフックに、ネオ・コントローラーのハンガーを引っかけてセットするものです。他の物ににセットする場合は、当社または当社サービス店にお問い合わせください。（お問い合わせ先は裏表紙をご覧ください）

❻ 消毒のために薬剤を使用する場合は、薬剤の種類によりプラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因になるものがあります。薬剤を選定の際は、17ページの表「耐薬品性」を参考にしてください。表中の×印の薬剤は使用しないでください。

❼ 使用する薬剤により、プラスチックボトルが使用できない場合があります。その場合は、薬剤の影響を受けないガラスボトルをご使用ください。

●製品の概要／各部の名称

製品の概要

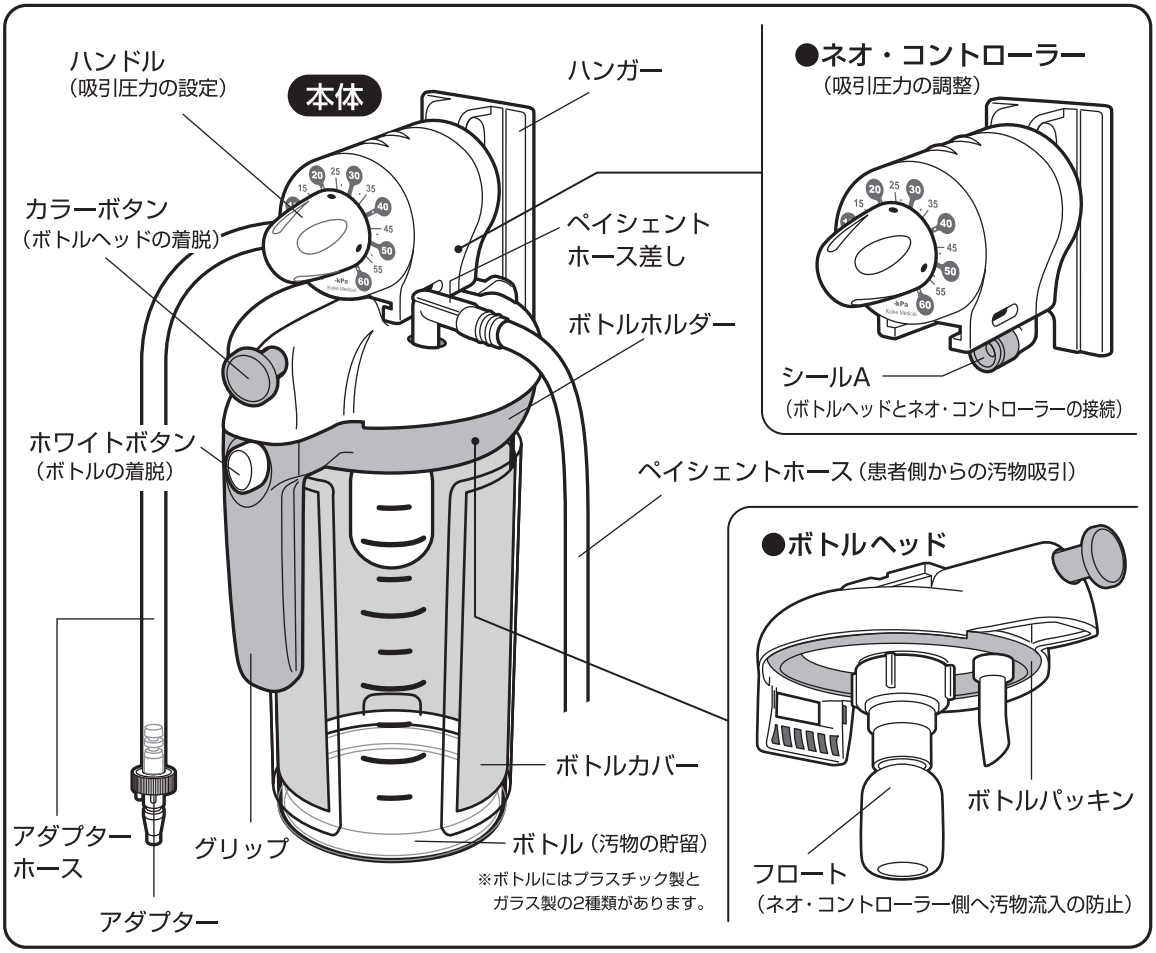
❶ 当製品は、医療ガス配管設備の吸引アウトレットに接続して用いる壁かけ式吸引器です。

❷ ネオ・コントローラー部とボトル部で構成され、外科手術や治療などによって生じる血液・たん・生理食塩水などの汚物を、ネオ・コントローラー部で調整する吸引圧力により吸い取り、ボトル内に貯留するものです。

❸ ネオ・コントローラーには、先端にアダプターがついているアダプターホースが接続されています。

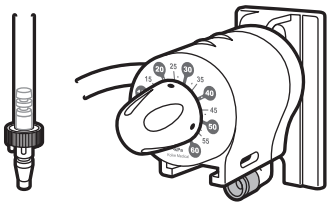
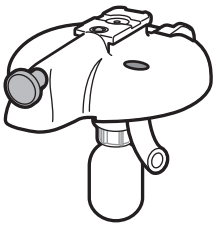
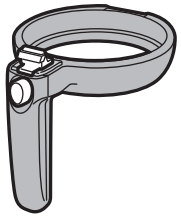
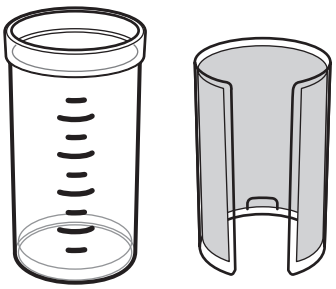
❹ アダプターを吸引アウトレットに差し込むことにより、簡単に医療ガス配管設備と接続できます。

各部の名称



●構成品

当製品の構成品は表の通りです。ご使用前に、すべての構成品があることを確認してください。
欠品がある場合は、当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

	品　　名	ユニット外観	数量
❶	ネオ・コントローラー （アダプターホース付）		1
❷	ボトルヘッド （フロート付）		1
❸	ボトルホルダー		1
❹	ボトル （ボトルカバー付）		1
❺	ペイシェントホース		1
❻	取扱説明書		1
❼	添付文書		1

●仕様／オプション

仕 様

項　　目	内　　容	
セットの種類	標準セット	特別セット
	S511型	S511G型
一般的名称	真空吸引器	
販売名	ヨックスGL S511	
届出番号	10B2X00014C00010	
入口吸引圧力	−60～−80kPa	
吸引圧力調整範囲	0～−60kPa	
吸引圧力調整目盛	OFF,−5,−10,−15,−20,−25,−30,−35,−40,−45,−50,−55,−60（kPa）	
ボトル内容積	1200ml	
セット内容	ネオ・コントローラー ボトルヘッド、ボトルホルダー プラスチックボトル ペイシェントホース（ホース差し付き）	ネオ・コントローラー ボトルヘッド、ボトルホルダー ガラスボトル ペイシェントホース（ホース差し付き）
ボトルの種類	プラスチックボトル	ガラスボトル
全装備重量	1,070g	1,670g
セット外観寸法	幅131mm×奥行き190mm×高さ334mm	
ボトル単体の重量	230g	830g
ボトルの寸法	最大外形φ112mm×高さ232mm	
アダプター	ピンインデックス形	

●一般医療機器　●特定保守管理医療機器

オプション

1.カラーの選択

次の2種類から選択できます。

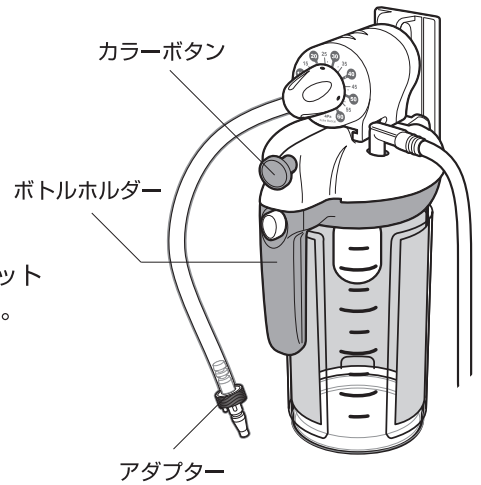
A：グレイッシュピンク
B：ライトピンク

2.アダプターの選択

アダプターには、次の2種類がありますので、アウトレットバルブの形式に合わせたアダプターを選定してください。

A：ピンインデックス形
B：シュレーダ形

※アウトレットバルブがシュレーダ形式の場合は、必ずシュレーダ形とご指定ください。



●操作：使用前の準備

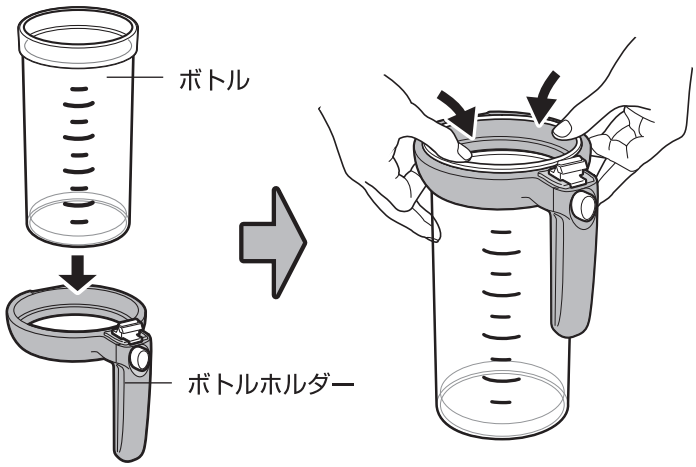
⚠警告	当製品の操作は、必ず次の手順に従って行ってください。 手順に従わない場合は、重大な事故が起こることがあります。

1.ボトルにボトルホルダーをセット

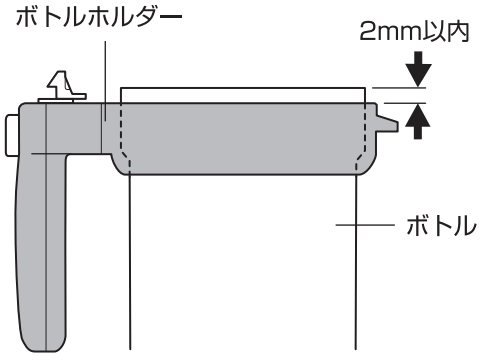
⚠注意	ボトルとボトルホルダーの組み付けは、落下による破損事故防止のために必ず机上で行ってください。

☺
納入品はあらかじめセットされています。

ボトルホルダーにボトルを差し込みます。ボトルホルダーを両親指を除くすべての指でささえ、ボトルを両親指で押し込み、確実に一体化します。



※ボトルホルダーの上部の端面より、ボトルの上部端面までの寸法は2mm以内にしてください。

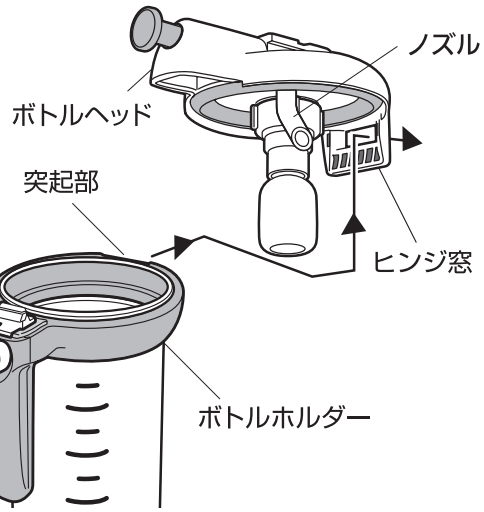


●操作：使用前の準備

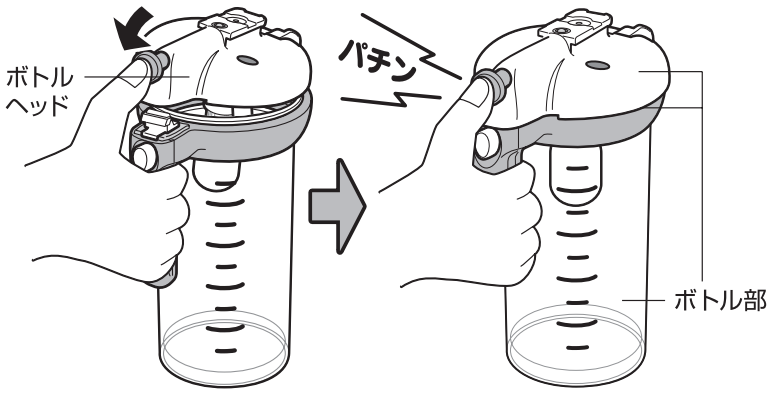
2.ボトルホルダーにボトルヘッドをセット

ボトルが組み込まれたボトルホルダーに、ボトルヘッドをセットします。

1. ボトルヘッドのヒンジ窓にボトルホルダーの突起部を、差し込みます。



2. そのままボトルヘッドを押し下げ、「パチン」と音がしたらセット完了です。音がしない場合は、もう一度やり直してください。



☺

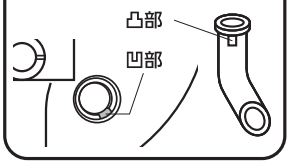
納入品はあらかじめ、セットされています。

☺

ボトルヘッドにはノズルが装着されていますが、取り付けの際にはノズルの向きに注意してください。



ノズルには取り付け向きがあります。
下図のようにボトルヘッドの凹部とノズルの凸部を合わせてください。



☺

ボトル部とは、ボトルにボトルホルダー、ボトルヘッドがセットされたものをさします。

⚠注意

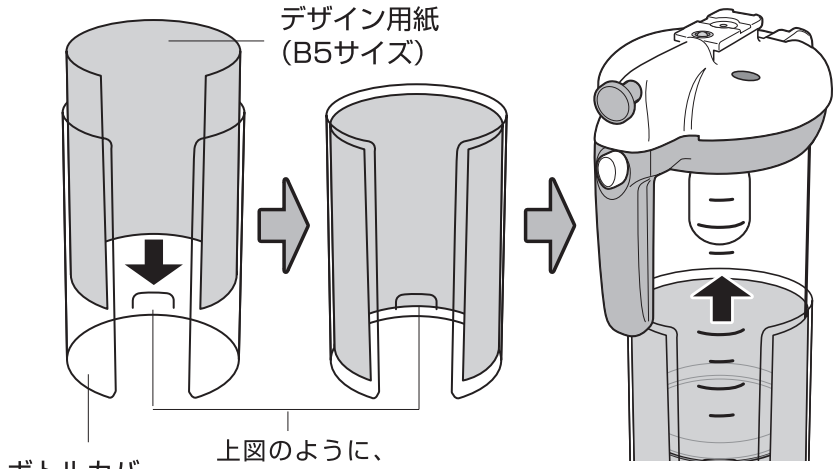
- ●ボトルホルダーが、ボトルヘッドに確実にセットされていることをご確認ください。確実にセットされていないと、ボトル落下によるボトルの破損、または重大な事故につながることがあります。
- ●ノズル出口の向きは必ずボトル側を向くようにセットされていることを確認してください。フロート側に向けたまま使用すると、配管に吸引物が逆流するおそれがあります。

3.ボトルにカバーをセット（任意）

図のようにボトルカバーに紙をはさみ、ボトルにセットすることで、ボトルのデザインを自由にアレンジすることができます。

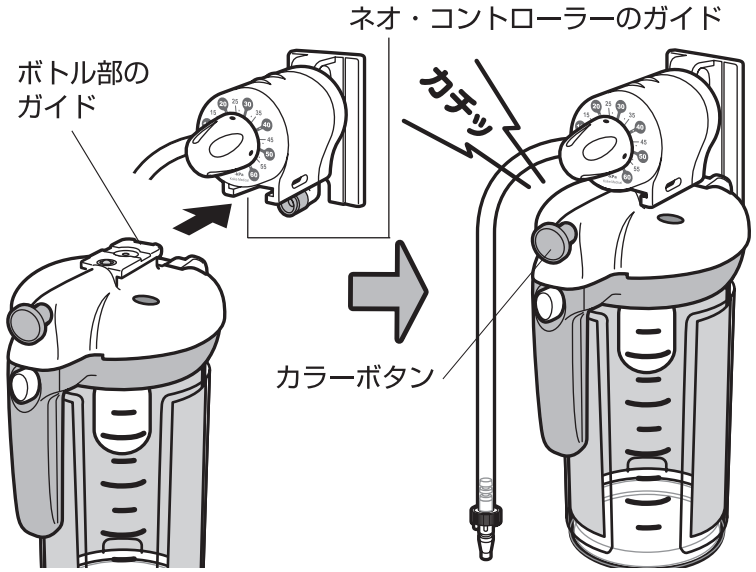
☺

ボトルカバーは落下する場合がありますので、しっかりとセットしてください。



4.ネオ・コントローラーにボトル部をセット

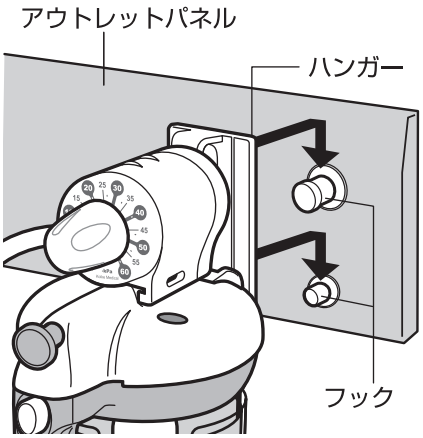
図のようにネオ・コントローラーのガイドとボトル部のガイドを合わせ、スライドさせます。カラーボタンが「カチッ」と音がするまで押しつけてください。



●操作：使用前の準備

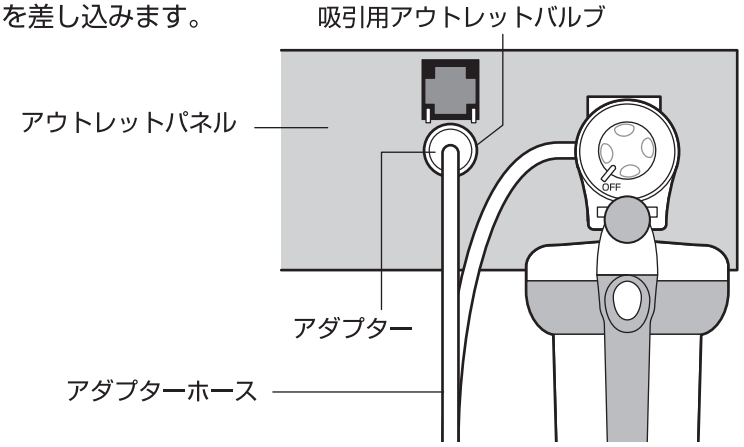
5.本体をアウトレットに接続

1. アウトレットパネルのフックにネオ・コントローラーのハンガーを引っかけて取り付けます。



⚠ 注意	フックへの取り付けが確実であることをご確認ください。確実に取り付けられていないと、落下による吸引器破損、または重大な事故につながる可能性があります。

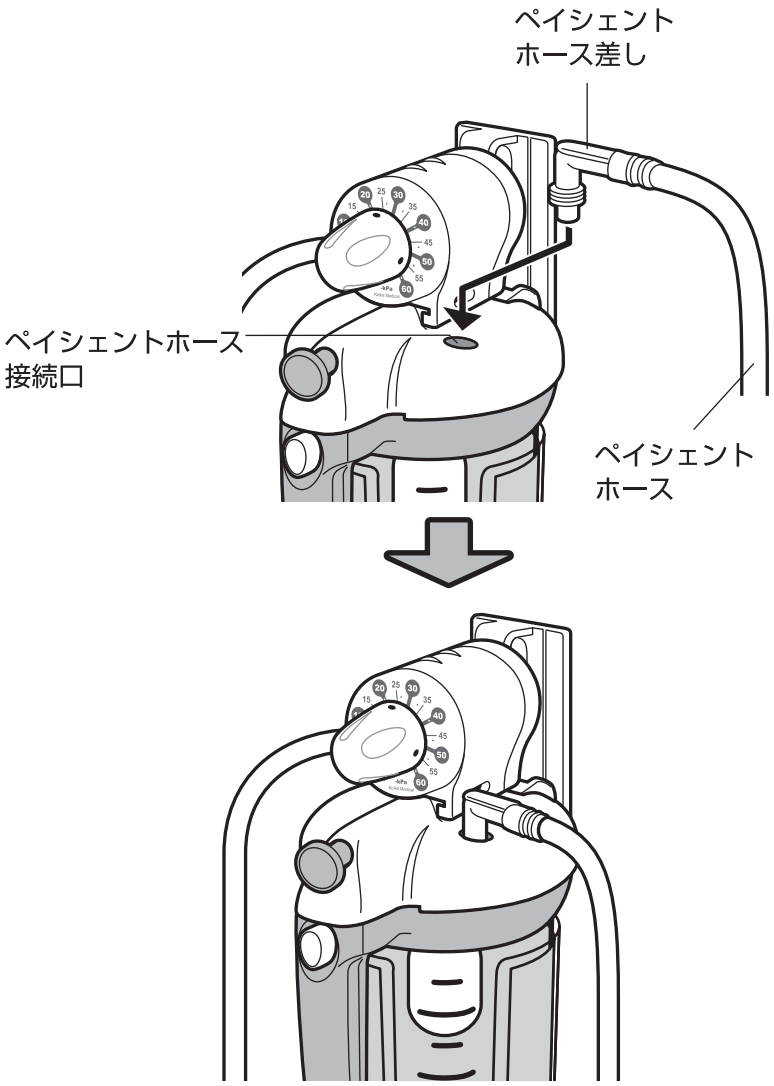
2. 吸引用のアウトレットバルブにアダプターホースのアダプターを差し込みます。



⚠ 注意	●アダプターホース先端のアダプターの形式が、アウトレットバルブの形式に合っているか確認してください。 ●アウトレットにアダプターを取り付ける際には、アダプターのピン位置を合わせ「カチッ」というまで差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力が作用せず、吸引不可となります。

6.ペイシェントホースをボトルヘッドに接続

ペイシェントホースのホース差しを、ボトルヘッドに差し込みます。



⚠ 注意	ペイシェントホースのホース差しは、ボトルヘッドに確実に差し込んでください。確実に差し込まないと吸引圧力の低下、ペイシェントホース差しの抜けなど、吸引作業の支障となります。

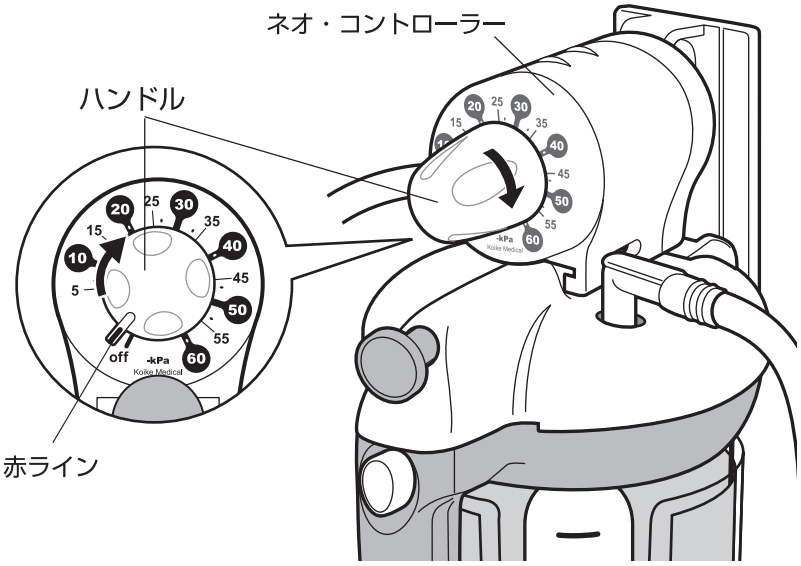
●操作：使用前の準備

吸引の確認

☺

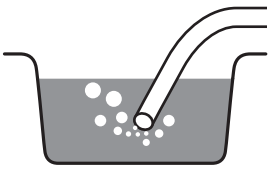
目盛は吸引圧力を表しています。

1. ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」の位置を「OFF」の位置から時計方向に廻すと、吸引が開始されます。

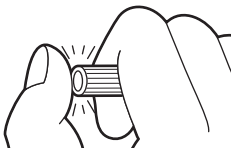


2. ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」の位置を、目盛「10」に合わせたら、次の2つの方法のどちらかで、吸引できるか確認してください。

A. ペイシェントホースの先端を、あらかじめ用意した水の入った容器内に差し込みます。水を吸い上げれば準備OKです。



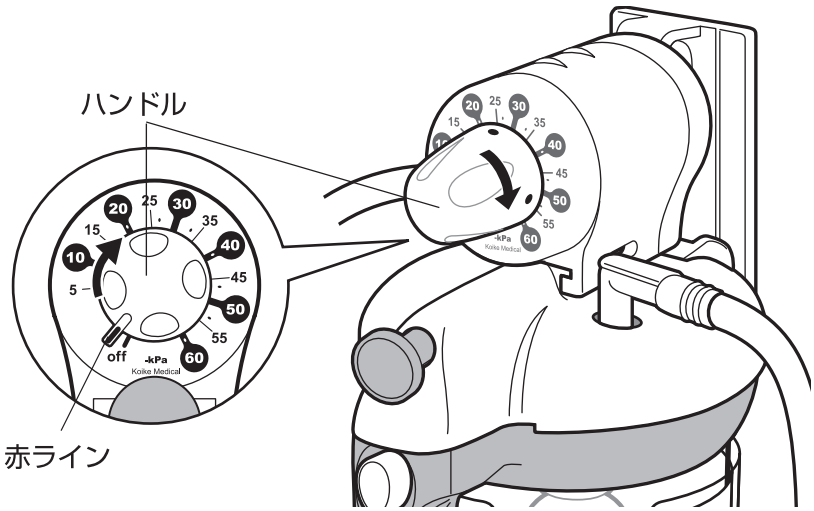
B. ペイシェントホースの先端を、親指の腹に当てます。吸引を確認できればOKです。



●吸引の開始

吸引の開始

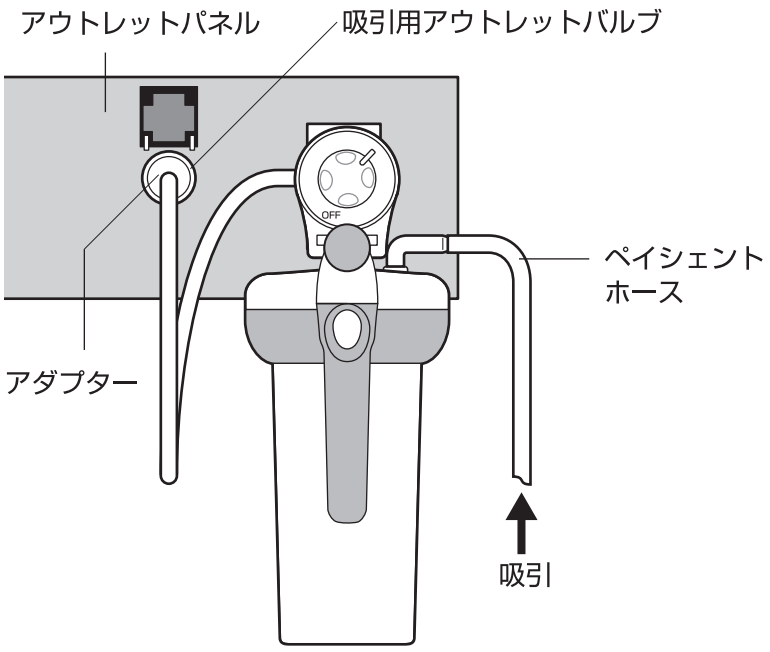
1. ネオ・コントローラーのハンドルを廻し、「赤ライン」を、必要とする目盛（吸引圧力）に設定してください。



2. これで、ペイシェントホースの先端から吸引できます。

☺

吸引した汚物等は先の曲がったノズルにより、ボトルの内側に沿って旋回しながら流入しますので、飛沫の発生防止となっています。

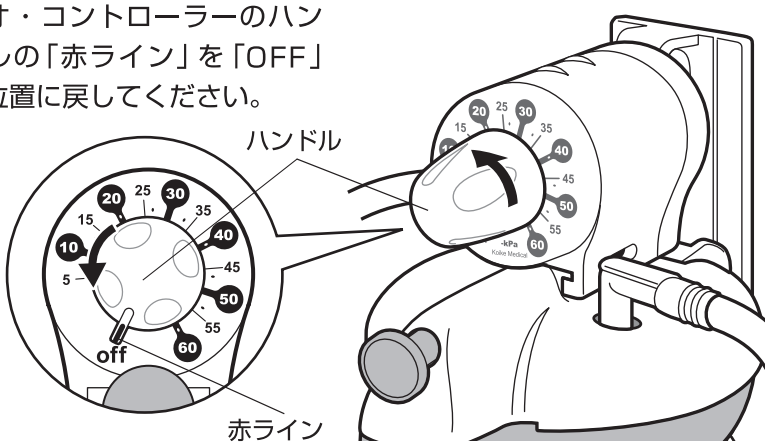


●操作：吸引の中断／吸引の停止

⚠ 注意	●ボトル内の汚物が1000mlの「FULL LEVEL」になる前に吸引を中止してください。汚物をコントローラー内まで吸引すると、医療ガス配管設備およびアウトレットバルブが汚染されることがあります。 ●ボトル内の汚物が1000mlの「FULL LEVEL」になる前に、早めに廃棄してください。

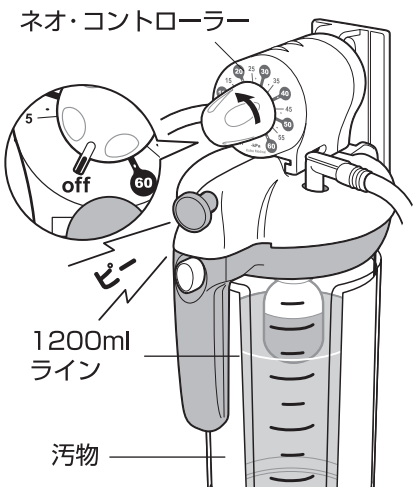
吸引の中断

ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」を「OFF」の位置に戻してください。



吸引の停止

この吸引器はボトル内の汚物が1200mlになると、自動的に吸引圧力が遮断され、吸引が停止するとともに満杯を知らせる笛が鳴ります。
ネオ・コントローラーのハンドルの「赤ライン」を「OFF」の位置に戻し、汚物を廃棄してください。
廃棄は、15ページの「汚物の廃棄処理」に従い、廃棄してください。



●汚物の廃棄処理

廃棄操作の注意事項

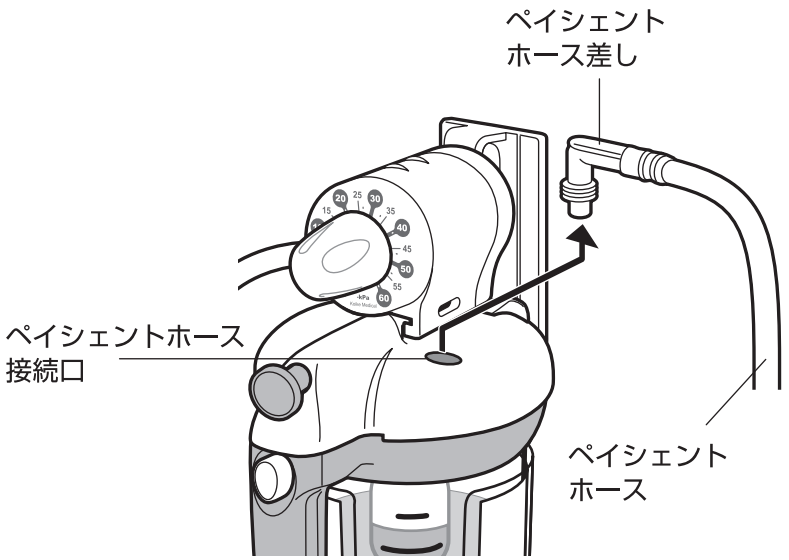
⚠ 注意	汚物を廃棄する時は、次の点に注意して操作をおこなってください。汚物の飛散、ボトルの落下、ボトルの破損などにより、汚物による汚染などにつながります。

❶ ボトル内の汚物を棄てるときは、吸引を中止してから行ってください。

❷ 使用後は、汚物が付着したままで放置しないでください。汚物が固化しますと洗浄しにくくなるばかりか、故障の原因になります。直ちに汚物を廃棄し、洗浄および消毒を行ってください。

廃棄の手順

1. ボトルヘッドからペイシェントホースを外してください。



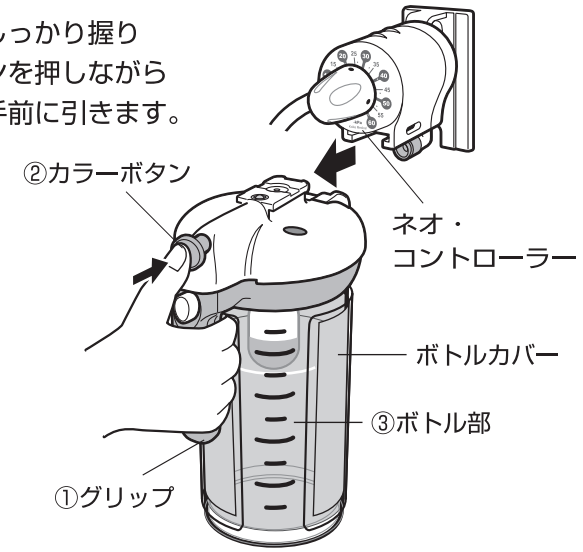
●汚物の廃棄処理

☺

必要に応じて
ボトルカバーを外して
ください。

2. ネオ・コントローラーからボトル部を外してください。

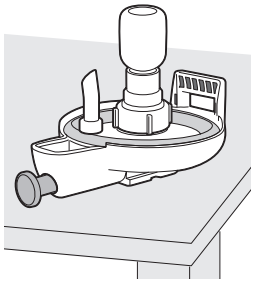
①グリップをしっかり握り
②カラーボタンを押しながら
③ボトル部を手前に引きます。



3. ボトルからボトルヘッドを外してください。

☺

ボトルヘッドは、フロートが上になるように逆さまにして、机上等平らな場所に置くようにしてください。



ボトル部を机上等の平らな場所に置き、
①片方の手でボトルヘッドを押さえ、もう片方の手でボトルホルダーのグリップを握ったまま、
②ホワイトボタンを押し、
③ボトルヘッドを外します。



4. 片方の手でボトルホルダーのグリップを握り、もう片方の手でボトルをささえ、ボトル内の汚物を所定の処理場所に廃棄してください。



●洗浄および消毒方法

洗浄および消毒方法の注意事項

⚠ 注意	洗浄および消毒方法、または薬剤の種類により、プラスチック製品部が侵され、亀裂または破損の原因となることがあります。

❶ 薬剤の取扱いについては、薬剤に付属されている「取扱説明書」をよくお読みください。

❷ 当製品の使用後は必ず洗浄および消毒を実施してください。

❸ 当製品を洗浄または消毒する際の薬剤は、下表の「耐薬品性」を参考に選定してください。×印の消毒剤は使用しないでください。○印の薬剤でも使用方法によりプラスチック製品部が侵され、亀裂が発生することがあります。

耐薬品性

一　般　名	商　品　名	可否
グルコン酸クロルヘキシジン	ヒビテン・グルコネート★	○
	ヒビテン★	○
	ヒビスクラブ★	○
	マスキン液★	○
塩化ベンザルコニウム	オスバン、ヂアミトール	○
グルタラール	ステリハイド、サイデックス	○
クレゾール		×
塩酸アルキルジアミノエチルグリシン	テゴ51	×
	アノン300	×
アルコール	メタノール、エタノール	×
ヨウ素およびヨウ素化合物	イソジン	○
塩化ベンゼトニウム	ハイアミン	○
次亜塩素酸ナトリウム	ハイター	×
	ピューラックス、ミルトン、テキサント	×
植物系油	サラダ油、オリーブ油	×
鉱物系油		×

（注）★：ただし、アルコールによる希釈は不可　○：使用可　×：使用不可

❹ 上表の他に、濃度もさまざまな薬剤の登場が予想されます。新しい薬剤を使用する場合には、最寄りの弊社営業所または販売店、もしくは消毒メーカーにお問い合わせください。

●洗浄および消毒方法

❺ 当製品のプラスチック製品部の耐熱温度は100℃以下です。
100℃を超える温度での洗浄および消毒はおこなわないでください。

❻ 急激な温度変化は亀裂および破損の原因となります。

❼ プラスチック製品部の洗浄には、柔らかいスポンジを使用してください。たわしやブラシのような硬いものでの洗浄は、表面に傷がつきますので使用しないでください。

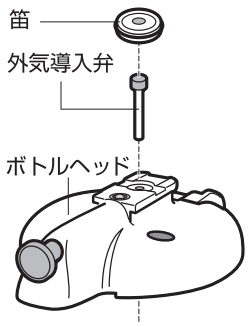
ネオ・コントローラーの洗浄および消毒

ネオ・コントローラーは精密な構造のため、洗浄消毒をしないでください。汚れた場合は、柔らかい布で拭き取る程度にしてください。

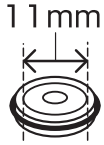
ボトル部の洗浄および消毒

☺

ボトルヘッドには、笛、外気導入弁が装着されていますので、ご注意ください。



注：笛には取り付けの向きがありますので、ご注意ください。下図のように、面上に直径11mmの円が見える方が上面です。

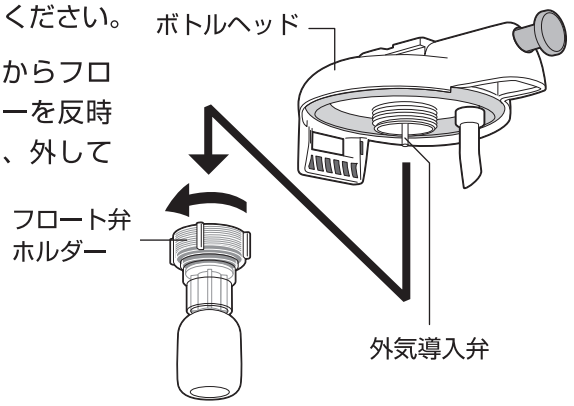


※笛はヨックスS-511専用です。

ボトルヘッド

次の順序で実施してください。

❶ ボトルヘッドからフロート弁ホルダーを反時計方向に廻し、外してください。



⚠ 注意

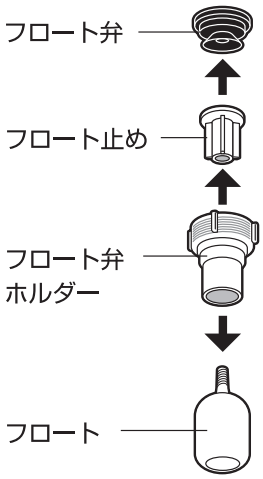
フロート弁ホルダーを外すとボトルヘッドから（外気導入弁）が少し出ています。細い棒を曲げたり折ったりしないようご注意ください。満杯時の警告音が出にくくなるとともに、フロートの作動不良、ひいては医療ガス配管設備およびアウトレットバルブが、汚物により汚染されることがあります。

❷ フロート弁ホルダーにセットされているフロート弁を指で押し、外してください。

❸ フロート止めを指で押さえ、フロートを反時計方向に廻し、外してください。

❹ 各部品の洗浄および消毒を行ってください。

❺ 洗浄および消毒後、部品は良く乾燥させてください。



☺

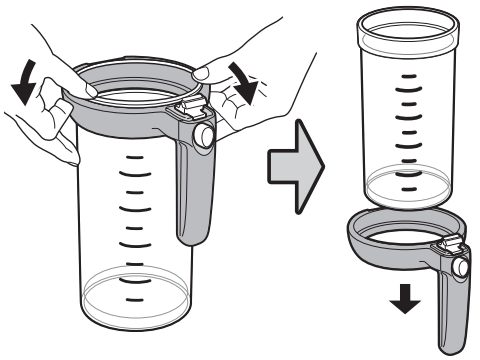
ボトルを長時間、消毒薬液に浸漬しないでください。浸漬時間は、薬剤の取扱説明書を参照願います。

ボトルおよびボトルホルダー

⚠注意 ボトルよりボトルホルダー外す時は、落下による破損事故防止のために、必ず机上でおこってください。

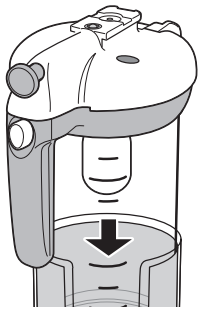
❶ 右図のようにボトルホルダーの両端を下側に押し、ボトルから外してください。

❷ ボトルおよびボトルホルダーも、ボトルヘッド同様に洗浄した後、消毒してください。



☺

ボトルカバーを付けて使用している場合は、先に外してください。



洗浄および消毒後の組付

よく乾燥させた各部品を、外すときとは逆の順序で正しく組み付けてください。正しく組み付けないと故障の原因になります。

保管について

洗浄および消毒後の組立品は、ポリ袋等に収納し、指定された場所に保管してください。

●保守・点検

日常の点検

⚠ 警告

安全および性能を維持するために、保守点検は必ず行ってください。怠りますと、重大な事故につながることがあります。

❶ ご使用前に、必ず点検を行ってください。

❷ 点検項目と点検方法、および不具合時の対処は、下記の表を参照してください。

❸ 点検記録は1年以上保存してください。（下記のチェック事項記載点検表の用紙は当社で用意してあります。）

点検項目と点検方法、および不具合時の対処

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
1.吸引性能	ネオ・コントローラー、ボトル部の取付品の吸引ができるか	P.12の『吸引の確認』により確かめる	吸引できない時は、P.28の『故障および誤作動の対処方法』の表により対処する
2.気　密	ネオ・コントローラー、ボトル部の組付部および各ホース接続部に漏れがないか	まず吸引を開始してみる。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する漏れがあれば吸引される	漏れがあった場合はP.28の表「故障および誤作動の対処方法」により対処する
3.構成品の外観	①ボトルに亀裂または損傷がないか、変色がないか	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する	⚠ 注　意 新品に交換する
	②ボトルホルダーに亀裂または損傷がないか		
	③ボトルヘッドに亀裂または損傷がないか		
	④ネオ・コントローラーに亀裂または損傷がないか		新品に交換、または原因を取り除く
	⑤ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂がないか	針上がり、または損傷がないか確認する	新品に交換する
4.構成品の接続	確実にセットされていることを確認する	各部品を着脱操作し、セットの状況をみる	再セットする

点検項目	点検箇所	点検方法	不具合時の対処
5.操作性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転がスムーズか確認する	ハンドルを回転させ、作動状況を見る	⚠注　意 異常が認められた場合は使用を中止し、当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱がスムーズか	カラーボタンが正常に作動し、ネオ・コントローラーの脱着がスムーズにおこなえるかをみる	
	③ホワイトボタンとボトルホルダーの着脱がスムーズか	ホワイトボタンが正常に作動し、ボトルホルダーの脱着がスムーズにおこなえるかをみる	
6.シール材の変形 （シールA ボトルパッキン ペイシェントホース ノズル フロート弁）	①ボトルパッキンは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する	取り付け直しまたは新品に交換する
	②フロート弁は正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
	③シールAは正常に取り付けられているか、また変形、劣化、亀裂等の損傷がないか		
7.清潔感	①ボトルとボトルヘッドおよびフロート関係は清潔になっているか、また洗浄および滅菌消毒はおこなわれているか	油脂類の付着、水あか、金属のさび、汚れ等が無いことを目視で確認する	P.18の「ボトル部の洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒をおこなう
	②ネオ・コントローラーの外観は清潔になっているか		P.18の「コントローラーの洗浄および消毒」により洗浄、滅菌消毒をおこなう
8.フロート関係の作動性 （フロート フロート止め フロート弁ホルダー）	①フロートの上下作動はスムーズか	フロートがスムーズに上下作動するか手で押して確認する	取り付け直しまたは新品に交換する
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーに変形、劣化、亀裂等の損傷がないか	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する	新品に交換する

●保守・点検

定期点検

❶ 製造後長時間ご使用になりますと、ゴム製品、樹脂製品等に劣化が起こります。少なくとも1年に1回以上、次の定期点検を行ってください。

❷ 定期点検は、お買い求めの販売店または当社にご依頼されることをおすすめします。

❸ 定期点検は、日常点検と同様の項目でおこなってください。

⚠ 警告

●不完全な修理、調整は危険です。部品の交換、調整が必要な場合には、器種名をご確認のうえお買い求めの販売店、または当社にご依頼ください。

●定期点検を販売店または当社に依頼される場合は、当製品を必ず滅菌および消毒後に発送してください。病原菌による感染、または汚染等非常に危険です。

●消耗部品／廃棄処分について

消耗部品の交換頻度

⚠ 警告

部品交換は当社純正部品とご指定ください。部品のご注文は24～25ページの「部品注文方法」を参照ください。（不完全な修理、部品の交換は危険です。）

消耗部品（番号は24～25ページ「部品リスト」の部品番号を示す）

番号	部品名称	使用頻度
4	シールA	A
7	ボトルヘッド(組)	C
10	ボトルパッキン	B
11	ノズル	B
12	ペイシェントホース差し	A
13	フロート弁	A

番号	部品名称	使用頻度
14	フロート止め	C
15	フロート弁ホルダー	C
16	フロート	C
17	ボトルホルダー	C
18	プラスチックボトル	C
19	ガラスボトル	C
21	ガラス用ボトルホルダー(組)	C

A：交換頻度…大　B：交換頻度…中　C：交換頻度…小

吸引器および交換部品の廃棄処分

⚠ 警告

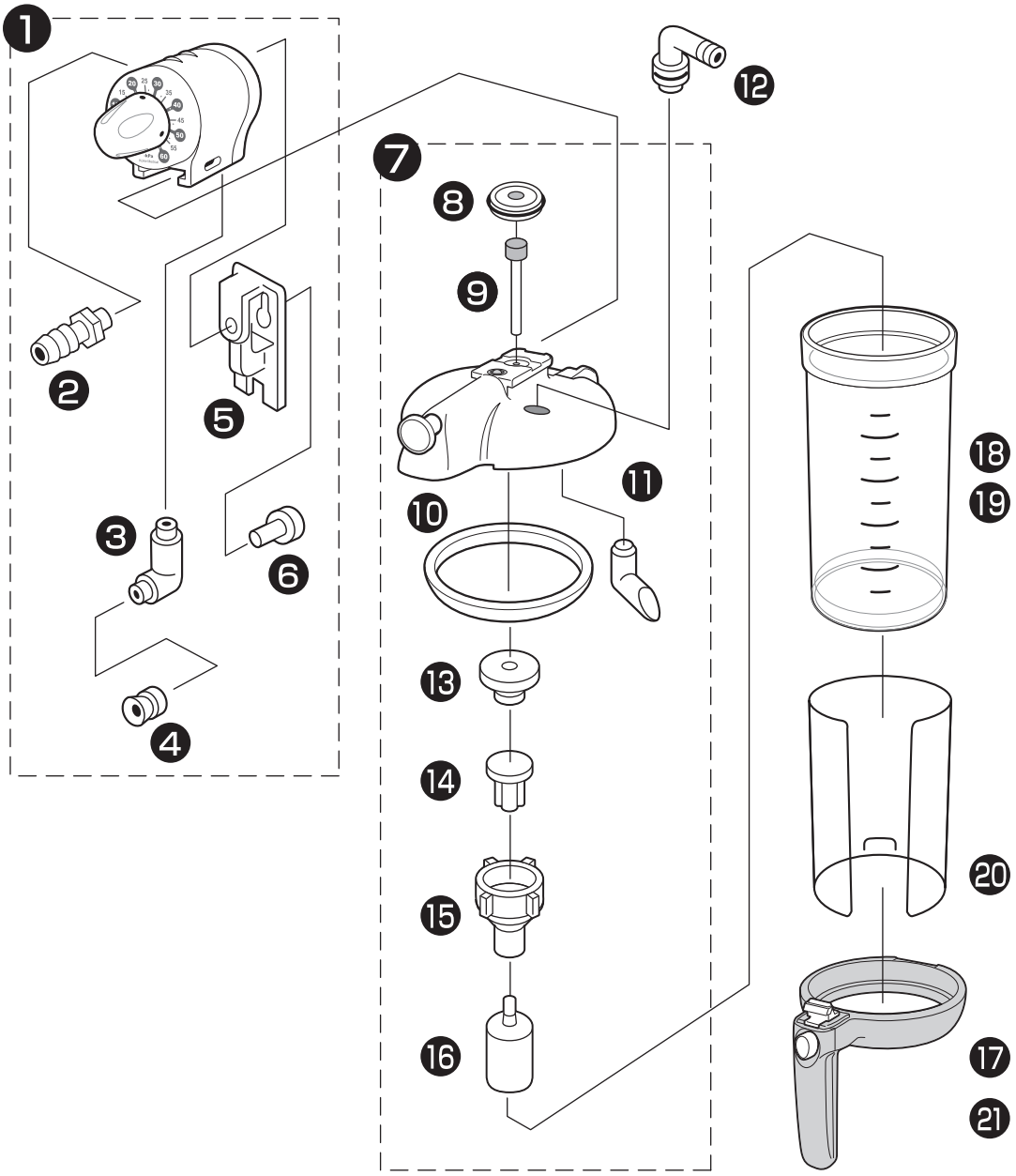
使用済みの吸引器、または吸引器に使われた部品を廃棄する場合は、適合する法規に従って処理してください。

●消耗部品・部品の注文方法／保証期間

消耗部品・部品の注文方法

部品のご注文に際しては、本リストの部品名称、部品番号および数量をお知らせください。

部品図



部品リスト

番号	部品名称		部品番号	数量	備考
❶	ネオ・コントローラー		338201	1式	❷～❻を含む
❷	ホース差し		338003	1	
❸	導通管		338004	1	
❹	シールA		322003	1	
❺	ハンガー		322004	1	
❻	六角穴付ボルト		322032	1	
❼	ボトルヘッド(組)	グレイッシュピンク	338212	1式	❽～⓫、⓭～⓰を含む
		ライトピンク	338211	1式	S-511用
❽	笛		338204	1	S-511用
❾	外気導入弁		338036	1	
❿	ボトルパッキン		338203	1	S-511用
⓫	ノズル		338006	1	
⓬	ペイシェントホース差し		359122	1	10個入
⓭	フロート弁		338012	1	
⓮	フロート止め		338007	1	
⓯	フロート弁ホルダー		338008	1	
⓰	フロート		338009	1	
⓱	ボトルホルダー	グレイッシュピンク	338222	1	S-511 プラスチックボトル用
		ライトピンク	338221	1	S-511 プラスチックボトル用
⓲	プラスチックボトル		338202	1	
⓳	ガラスボトル		322011	1	
⓴	ボトルカバー		338231	1	
㉑	ボトルホルダー	グレイッシュピンク	338224	1	S-511 ガラスボトル用
		ライトピンク	338223	1	S-511 ガラスボトル用

(1)カラーの選択
(ボトルホルダー及びカラーボタン)
A：グレイッシュピンク　B：ライトピンク

(2)アダプターの選択
A：ピンインデックス形　B：シュレーダ形
※詳しくはP.6の「オプション」をご参照ください。

保証期間

当製品（消耗品は除く）の保証期間は、お求めの日から1年間です。

●日常点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点　検　箇　所	点　検　日　時　・　点　検　者								
1.吸引性能	ネオ・コントローラー、ボトル部の組付品の吸引確認									
2.気　　密	ネオ・コントローラーとボトル部の組付部、および各ホース接続部の漏れ									
3.構成品の外　観	①ボトルの亀裂、損傷、変色の確認									
	②ボトルホルダーおよびホワイトボタンの亀裂、損傷の確認									
	③ボトルヘッドの亀裂、損傷の確認									
	④ネオ・コントローラーの亀裂、損傷の確認									
	⑤ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂の確認									
4.構成品の接　続	確実にセットできることの確認									
5.操 作 性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転									
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱									
	③ホワイトボタンの作動とボトルホルダーの着脱									
6.シール材の変形 （シールA ボトルパッキン ペイシェントホース ノズル フロート弁）	①ボトルパッキン取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
	②フロート弁の取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
	③シールAの取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認									
7.清 潔 性	①ボトル、ボトルホルダー、ボトルヘッド、フロート関係の清潔性の確認および洗浄、消毒状態の確認									
	②ネオ・コントローラー外観の清潔性の確認									
8.フロート関係の作動性 （フロート フロート止め フロート弁ホルダー）	①フロートの上下作動の確認									
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーの変形劣化、亀裂等、損傷の確認									

レ－点検　○－分解　×－交換　△－修理　A－調整　T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

●定期点検表　点検記録は1年以上保存してください。

点検項目	点　検　箇　所	点　検　方　法	点　検	備　　考
1.吸引性能	ネオ・コントローラー、ボトル部の組付品の吸引確認	P.12の「吸引の開始」により確認する。		
2.気　　密	ネオ・コントローラーとボトル部の組付部、および各ホース接続部の漏れ	ネオ・コントローラーを、ボトル部に組付た状態でボトル部のペイシェントホースの先端を塞ぎ吸引をを開始し、各接合部およびホース接続部の漏れを確認する。漏れがある場合は「シュー」と音がするので、石けん水を疑わしい所にブラシまたは筆で塗布する。漏れがあれば吸引されます。		
3.構成品の外　観	①ボトルの亀裂、損傷、変色の確認	亀裂または損傷および変色、劣化がないか、目視で確認する。		
	②ボトルホルダーおよびホワイトボタンの亀裂、損傷の確認			
	③ボトルヘッドの亀裂、損傷の確認			
	④ネオ・コントローラーの亀裂、損傷の確認			
	⑤ホース・チューブ類の折れぐせ、劣化、亀裂の確認			
4.構成品の接　続	確実にセットできることの確認	各部品を着脱操作し、セットの状況を見る		
5.操 作 性	①ネオ・コントローラーのハンドルの回転	ハンドルを回転させ、作動がスムーズか確認する。		
	②カラーボタンの作動とネオ・コントローラーの着脱	カラーボタンを押し、ネオ・コントローラーの着脱がスムーズにおこなえるか確認する。		
	③ホワイトボタンの作動とボトルホルダーの着脱	ホワイトボタンを押し、ボトルホルダーの着脱がスムーズにおこなえるか確認する。		
6.シール材の変形 〈シールA ボトルパッキン ペイシェントホース ノズル フロート弁〉	①ボトルパッキン取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認	シール材の取り付け状態は正常か、変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		
	②フロート弁の取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認			
	③シールAの取り付け状態、変形、劣化亀裂等の損傷の確認			
7.フロート関係の作動性 〈フロート フロート止め フロート弁ホルダー〉	①フロートの上下作動の確認	フロートがスムーズに上下作動するか、手で押して確認する。		
	②フロート、フロート止め、フロート弁ホルダーの変形劣化、亀裂等、損傷の確認	変形、変色、劣化、亀裂等の損傷がないか、目視で確認する。		

レ－点検　〇－分解　×－交換　△－修理　A－調整
T－締付　C－清掃、洗浄　S－滅菌消毒

点検日	
担当者	

●故障かなと思ったら

故障および誤作動の対処方法

現　象	原　因	点検箇所	処　置
吸引ができない	アダプターが正常に接続されていない	アダプターおよびアウトレット	①アダプターがアウトレットに合致しているか調べてください。 ②アウトレットにアダプターを差し込み直してください。
	シールAの不具合	ネオ・コントローラー	シールAを取り付け直すか、交換してください。
	ボトルパッキンの不具合	ボトルヘッド	ボトルパッキンを取り付け直すか、交換してください。
	ボトルの取付不良	ボトル	ボトルを取り付け直してください。
	ボトルに亀裂がある	ボトル	ボトルを新品と交換してください。
	ボトルヘッドとボトルホルダーの不具合	ボトルヘッドとボトルホルダー	ボトルヘッドにボトルホルダーを取り付け直すか、交換してください。
	ネオ・コントローラー調整不具合	ネオ・コントローラー	新品と交換してください。 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。
	ホースの折れ	ペイシェントホースおよび一次側ホース	折れの原因をなくすか、ホースを交換してください。
	導通管の損傷	ネオ・コントローラー	導通管を交換してください。
漏れがある	シールAの不具合	ネオ・コントローラー	シールAを取り付け直すか、交換してください。
	ボトルパッキンの不具合	ボトルヘッド	ボトルパッキンを取り付け直すか、交換してください。
	ボトルヘッドとボトルホルダーの取付不具合	ボトルヘッドとボトルホルダー	取り付け直してください。
	ネオ・コントローラーとボトルヘッドの接続不具合	ネオ・コントローラーとボトルヘッド	ネオ・コントローラーのレール部にボトルヘッドが固定されるまで押し込んでください。
	ボトルの取付不具合	ボトル	取り付け直してください。
	ボトルに亀裂がある	ボトル	ボトルを交換してください。
	導通管の損傷	ネオ・コントローラー	導通管を交換してください。
自動吸引停止ができない	フロートが作動しない	ボトルヘッド	フロート部品を洗浄し、取付直すか、フロート部品を交換してください。
	フロート弁が悪い	ボトルヘッド	フロート弁を洗浄し、取付直すか、フロート弁を新品と交換してください。
吸引圧力の調整ができない	ネオ・コントローラーの不具合	ネオ・コントローラー	新品と交換してください。 修理は当社または当社販売サービス店にご連絡ください。

MEMO

お願い

この取扱説明書に記載された、簡単な処置では解決できない問題が生じた時には、直ちに緊急連絡先へご連絡ください。
電話番号は下記の通りです。ご自身で修理を試みることは絶対におやめください。

緊急連絡先

人とともに呼吸する。
KOIKE MEDICAL
発売元：株式会社 小池メディカル
本社■〒132- 0031 東京都江戸川区松島 1-24- 8
TEL：03-5662-6605（代）
http: //www.koike-medical.co.jp/
製造販売元
株式会社 群馬コイケ 〒372-0855 群馬県伊勢崎市長沼町 222-1

■ お問い合わせは

21031000GKT